

G30の推進について

1 平成 21 年度（4 月～5 月）ごみ量の状況について

平成 21 年 4 月から 5 月までのごみ量は約 15 万 6 千トンで、平成 13 年度と比べ、43.1%減少（▲11万9千トン）しています。

なお、燃やすごみについては、35.2%減少（▲5万4千トン）し、事業系ごみについては、55.8%減少（▲6万4千トン）しています。

また、市民ひとり一日あたりの燃やすごみ量（原単位）は、39%減少しています。

(1) 平成 21 年度（4 月～5 月）のごみ量

【単位:トン】

		市全体		家庭系ごみ		燃やすごみ		事業系ごみ	
		対13年度		対13年度		対13年度		対13年度	
4 月 ～ 5 月	13年度実績	274,872		159,434		153,794		115,438	
	21年度実績			105,360	-54,074	99,660		51,010	
					-33.9%				
年 間	13年度実績	1,609,155		934,761		900,826		674,394	
	21年度目標	949,000	-660,155	621,000	-313,761	587,800	-313,026	328,000	-346,394
			-41.0%		-33.6%		-34.7%		-51.4%

※「家庭系ごみ」とは、燃やすごみと、粗大ごみ及び資源物として回収したもののうち、資源化できなかったものと、不法投棄等その他のごみの量を足したものです。

※21年度実績は速報値であり、10トン未満を四捨五入しています。

(2) 平成 21 年度（4 月～5 月）の燃やすごみ量・原単位・人口

	13年度 4月～5月	21年度 4月～5月	増減量 (対H13年度)	増減率 (対H13年度)
燃やすごみ量(トン)	153,794	99,660		-35.2%
原単位(g/(人・日))	731	446	-285	
人口(千人)	3,450	3,663	213	6.2%

※「原単位」とは、市民ひとり一日あたりの燃やすごみの量です。

※「燃やすごみ量」は、4月～5月の燃やすごみの量を累計した値です。

※「人口」は、4月～5月の各月の人口を平均した値です。

2 平成20年度ごみ組成調査結果について

平成17年4月から実施しました家庭ごみ分別対象品目の拡大に伴って、家庭から出される燃やすごみや資源物の組成がどのように変わったかを調べるためにごみ組成調査を実施しています。この調査は市内全18区にそれぞれ3～7地点（約140世帯）の調査地域を設定し、年2回（6～7月、10～12月）実施したものです。

(1) 燃やすごみについて

「燃やすごみ」の組成割合は、生ごみ(厨芥類)が36.6%、紙類が27.6%、木竹類が15.3%、プラスチック類が10.4%等となっています。前年度の結果と比べて大きな変化はありません。

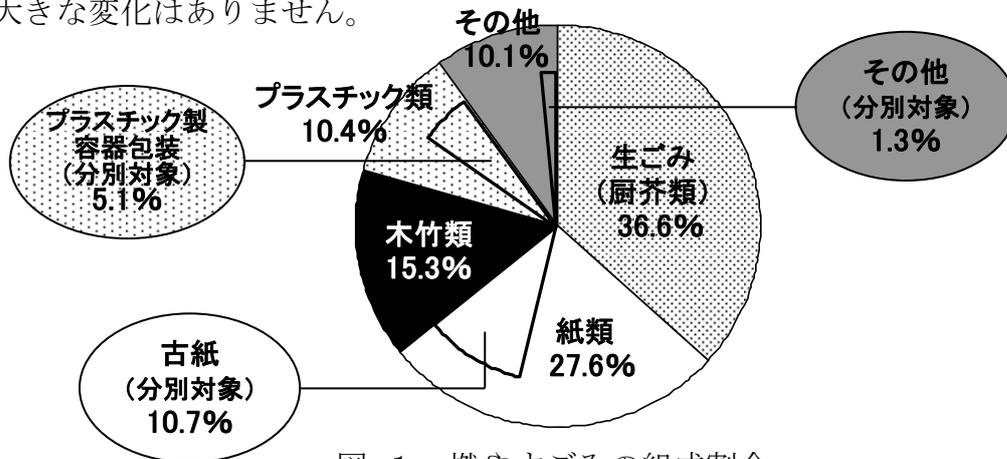


図-1 燃やすごみの組成割合

(2) 「燃やすごみ」の中の資源物の割合

「燃やすごみ」の中の資源物の割合は、分別拡大前の16年度に35.2%であったものが年々減少し20年度には17.1%となっています。その内訳は、古紙10.7%、プラ製容器包装5.1%、金属などその他の資源物1.3%が燃やすごみとして排出されています。

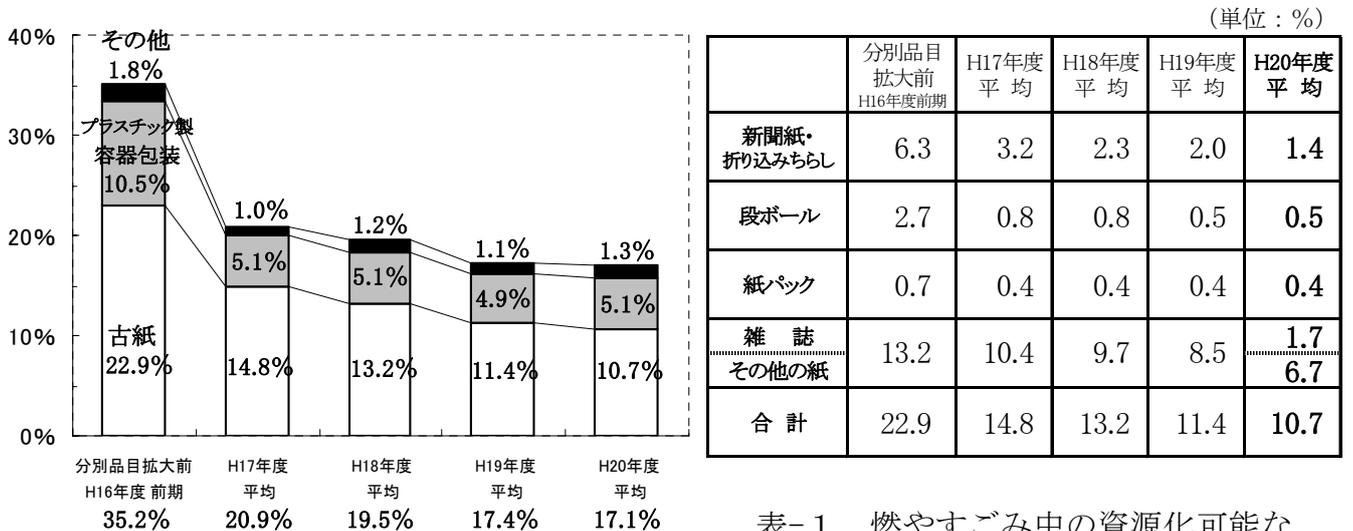


図-2 燃やすごみの中の資源物の割合

	分別品目 拡大前 H16年度前期	H17年度 平均	H18年度 平均	H19年度 平均	H20年度 平均
新聞紙・ 折り込みちらし	6.3	3.2	2.3	2.0	1.4
段ボール	2.7	0.8	0.8	0.5	0.5
紙パック	0.7	0.4	0.4	0.4	0.4
雑誌 その他の紙	13.2	10.4	9.7	8.5	1.7 6.7
合計	22.9	14.8	13.2	11.4	10.7

表-1 燃やすごみ中の資源化可能な古紙組成割合

(3) 資源物の分別率について

- 「缶・びん・ペットボトル」は95%以上の高い割合で分別されていますが、「プラスチック製容器包装」の分別率は約60%であり、残りの約40%が燃やすごみに出されています。

表-2 資源物の分別率

分別率(%)	分別品目 拡大前 H16年度 前期	H17年度 平均	H18年度 平均	H19年度 平均	H20年度 平均
缶	83.6	94.3	95.1	95.2	96.3
びん	82.8	95.1	96.0	96.4	95.7
ペットボトル	72.2	93.0	93.3	94.0	95.3
プラスチック 製容器包装	—	56.8	56.1	60.2	59.8

※ 分別率=資源物÷(資源物+燃やすごみ中の資源物)×100

- 「ペットボトル」は95.3%と高い割合で分別されていますが、ふたとラベルをきちんと取って出されたものの割合は68%であり、さらなる分別ルールの徹底が必要です。

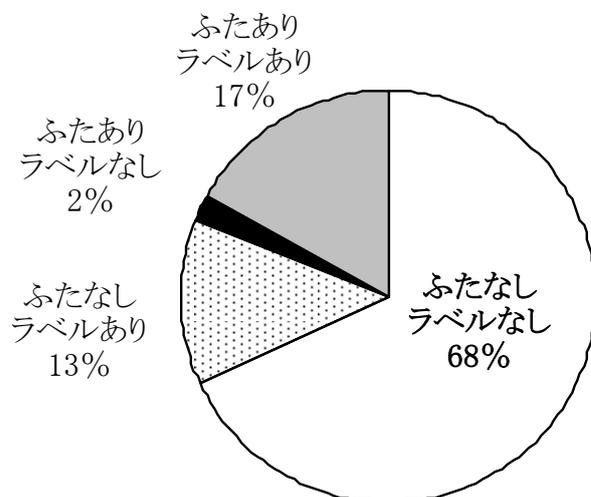


図-3 ペットボトルの排出方法